

現場のデータを生かす情報マップ

GEObook

これなら分る GEObook ガイド

株式会社ウラップ・ユニ

目次

1 . GE0book とは	2
2 . 操作の流れ図	3
3 . 地図を表示する 7 つの機能	4
4 . 住所と目標物による場所検索	5
5 . 氏名による場所検索・世帯主検索	6
6 . 属性ファイルからの地図による場所検索	7
7 . 地図から属性データの検索	8
8 . 何でもクイック検索	9
9 . 台帳(ファイル)を建物にリンク	10
10 . 集合建物の入居者データ(別記情報)を見る	12
11 . 建物と世帯主名を新規に登録・修正・削除する	13
12 . 現場のデータをシンボルに変換して入力	15
13 . シンボルを追加・修正・削除する	16
14 . 距離と面積を計算する	17
15 . 条件を設定して、主題図を作成する	18
16 . 特別区や法規制地区を入力する	20
17 . 図形を入力し、簡単に修正	21
18 . 多ページ印刷で、広範囲を印刷する	22
19 . 画像を貼り付けて、分りやすい管理を行う	23
20 . いろいろな区域エリアの検索	24
21 . 特定エリアの世帯数を自動的に抽出する	25
22 . 特定建物へ情報を追加入力する	26
22 . GIS と G E O b o o k	27

GEObook とは

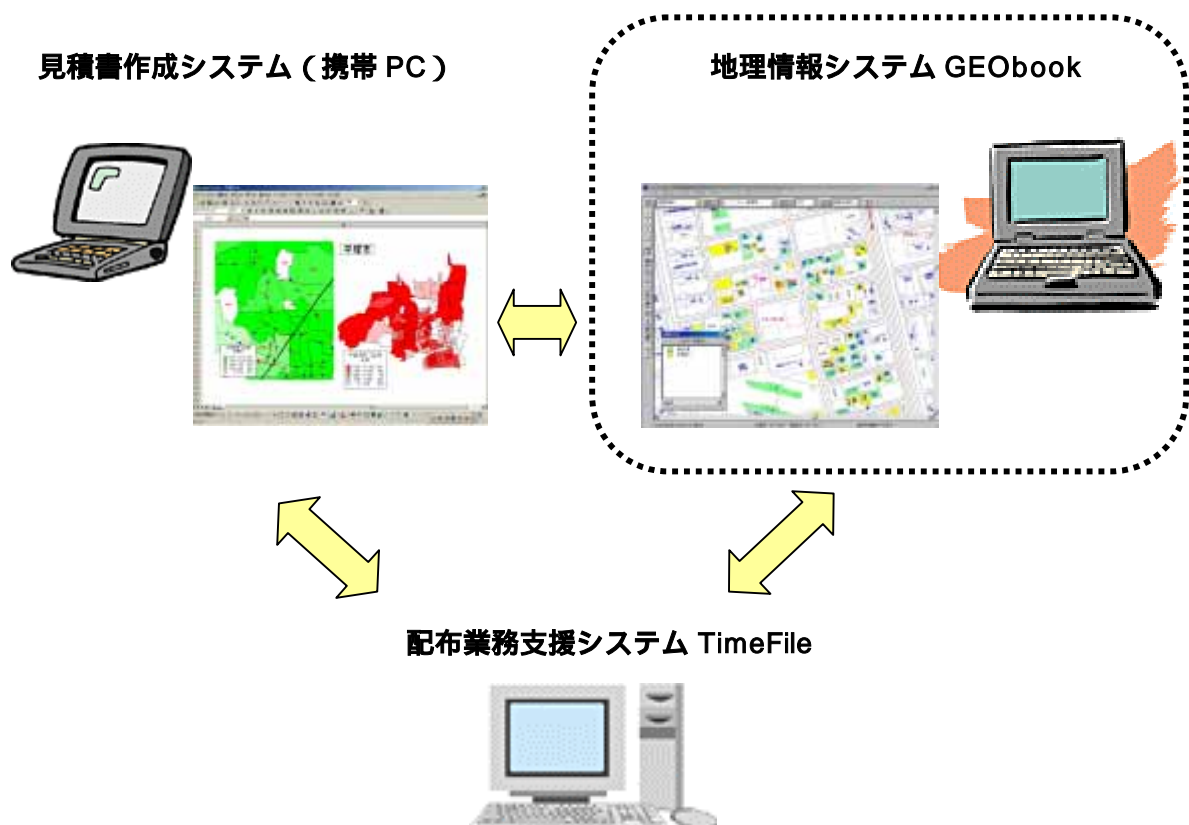
5つの特性

1. 地図の操作性 いろいろな方法で地図上の場所を探します。
2. エリアの検索 円形、多角形や、町単位、町丁目で属性データを検索します。
3. 地図の編集 地図の新規追加、変更、削除ができます。。
4. 主題図の作成 いろいろな条件を設定して、分かりやすい主題図を作成します。
5. 地図の印刷 検索結果を印刷する機能が沢山用意されています。

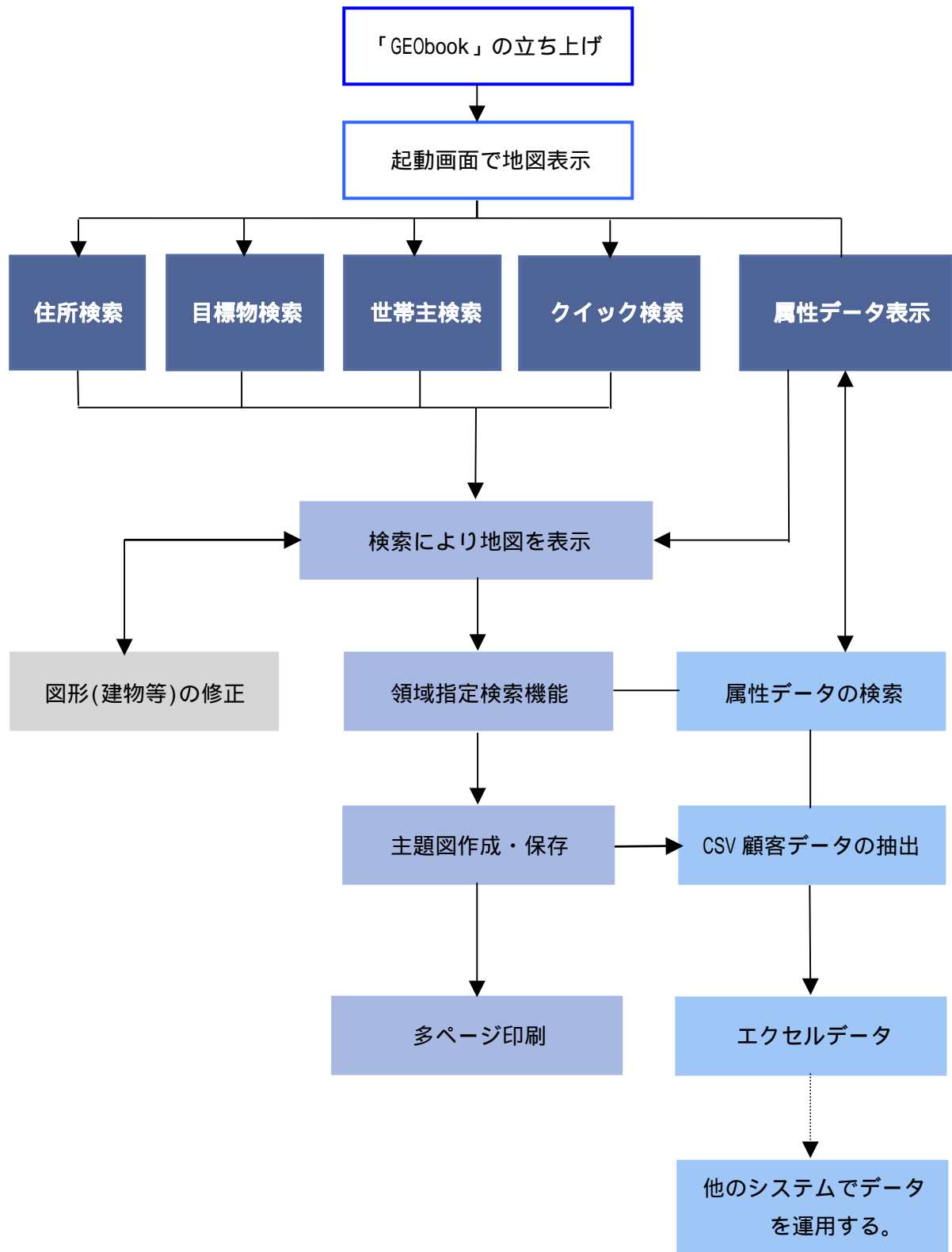
簡単・便利・単純が特徴です。

1. 操作は簡単です。
パソコンに初めて触れる方でもマニュアルを読まずに使うことができます。
2. 顧客データのような属性情報を追加・修正・更新・削除します。
台帳や帳票のデータはアクセスで管理登録します。
3. 地図データをどんどん変更・修正していきます。
地図上にシンボルマークや多角形（新規建物、公園）を記入することができます。

最も効果的なデータ管理と日常業務のOA化を実現するためにお手伝い致します。







操作の流れ図



地図を表示する7つの機能

地図を操作するために基本となる7つの機能があります。

-  **[領域拡大]**：小縮尺の画面を一気に大縮尺画面に拡大表示します。
-  **[拡大]**：拡大ボタンを使って、2倍に拡大します。
-  **[縮小]**：縮小ボタンを使って、1/2に縮小します。
-  **[前に戻る]**：拡大表示された状態から元の画面に戻します。

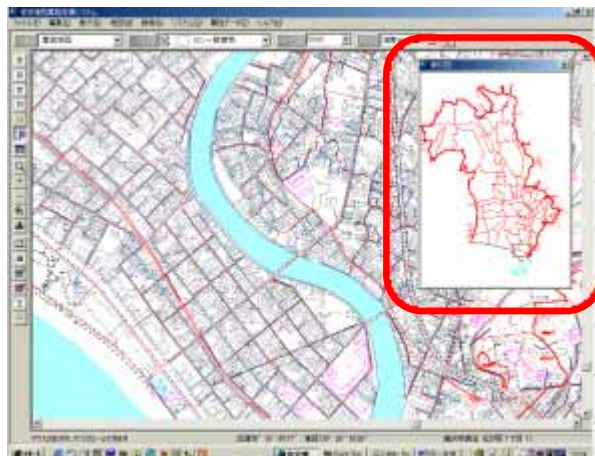
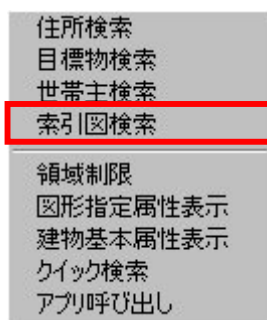
[指定縮尺変換]：事前に設定された 1/500, 1/750, 1/1000, 1/1500, 1/2500, 1/5000, 1/10000 の7段階の指定された縮尺変換を利用することができます。

又任意の縮尺数値（1/50～1/10000）を挿入して、縮尺変換することもできます。

[索引図]：索引図から特定の場所を指摘し、その場所を表示します。

索引図は大字・町単位で表現されています。

索引図の上にマウスを置いて、クリックして下さい。マウスで指定された場所が画面上に表示されます。



画面地図を縮小することで
全体の地域を把握するこ
とができます。



[スクロール]：マウスの右ボタンを押したまま、マウスを移動させます。任意の方向へ高速に移動(スクロール)します。中心部に行くほど、スピードが遅くなります。

住所と目標物による場所検索

住所検索

場所を探すには、住所による検索が便利である。住居表示の済んでいる地区は、「市町村名」、「大字・町名」、「字・丁目」、「街区(番・街区符号)」、「戸番(号・住居番号)」の順番に指定することで場所を特定することができる。まだ住居表示が終わっていないところでは、「大字・町名」と「地番」で検索する。指定が終われば、[地図表示]ボタンでその場所の地図を表示する。

住 (住)ボタンをクリックします。

目
世



目標物検索

「目標物検索」では、「公共施設」、「学校」、「その他(公園・広場・神社・寺院)」の区分で、主要な施設を検索することができる。「交番名」「駅名」での検索も行えます。



[検索キーワード]に名称を入れます。

[検索]ボタンをクリックします。

[地図表示]ボタンをクリックします。

氏名による場所検索・世帯主検索

世帯主検索



[世帯主検索]ボタンをクリックします。[世帯主検索]ボックスが開きます。

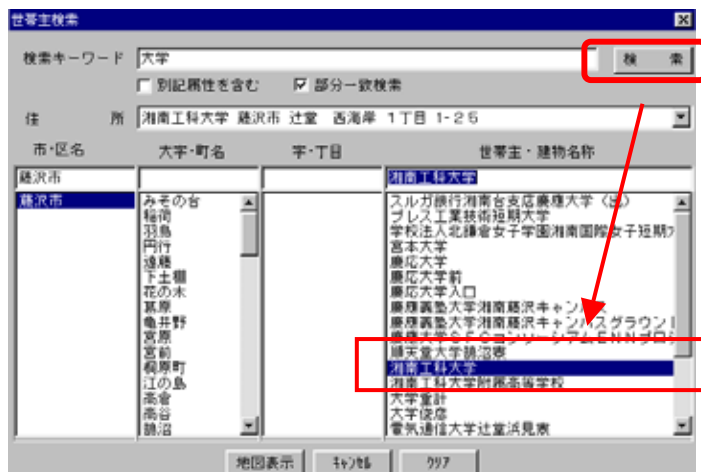
- ・検索キーワードとして「田中」を記入する。場所は藤沢市羽鳥と指定
検索範囲を市全体、大字・町名、字・丁目の3種類から選択
- ・通常は[別記属性を含む]の「チェックボタン」にチェックを入れる。
- ・検索結果が[世帯主・建物名称]内に表示される。氏名をクリックすると住所が表示
- ・[地図表示]を指定すればその場所が表示される。



- ・「田中」だけの場合は、「田中」という名をクリックし、住所の[スピン]ボタンをクリック。そこから再度選択し、[地図表示]ボタンをクリックします。

検索キーワードを「大学」と設定する。

- ・[部分一致検索]の条件を加える。
- ・大学と言う姓を持つ人、大学と言う名を持つ人、大学と言う名称を含む施設が検索されます。



属性ファイルからの地図による場所検索

属性ファイルから地図の位置検索



[属性データ]ボタンをクリックします。属性データの一覧表が表示されます。

- ・属性ファイルの中から、場所を探したいファイルをマウスで指定します。
- ・反転すれば、[地図表示]ボタンをクリックします。

属性データの
検索ボタン



[ファイル]を指定、
色が反転します。

何も表示しなければ
ここをクリック

[地図表示]ボタン

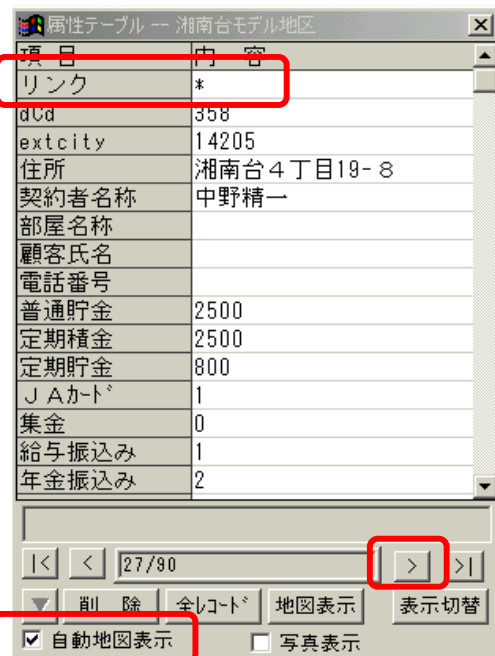
単票ファイルからの検索

リンクマーク(*)を確認

[地図自動表示]ボタンをクリック


[地図表示]ボタンをクリック

属性テーブルにリンクされている
建物が表示



地図から属性データの検索

建物を指定し、その属性ファイル（台帳／調書）を表示

 [図形指定属性表示]ボタンをクリックします。

建物を左ボタンでクリックします。建物の属性ファイルが表示されます。



別 [別]ボタンをクリック。建物を指定します。建物の居住者データが表示されます。



地図の建物内に（別）の記号がない場合は表示されません。



別記情報はありません。

別記情報があります。(集合住宅内の世帯主名)

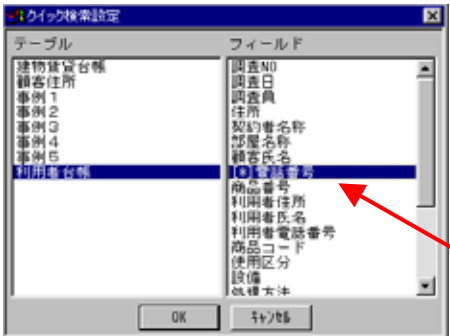
何でもクイック検索

日常業務では、所在位置を確認することが多い。住宅地図の中から1つのデータを探すことは煩わしい。ここでは、問い合わせに対しても迅速に対応できるようにスピード検索機能が用意されている。氏名・電話番号・管理番号等でスピード検索ができます。

最初に、ここでは「電話番号」で検索する条件を設定します。

ファイル(F) 編集(E) 表示(D) 地図(M) 検索(K) システム(Q) 属性データ(T) ヘルプ(H)

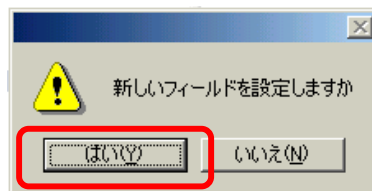
クイック検索設定
画像機能設定
実行環境設定



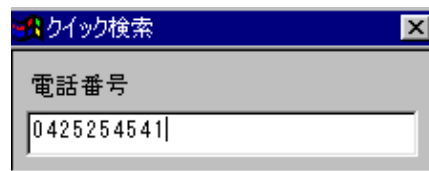
[クイック検索設定]ボックスのテーブル内から該当台帳を指定します。

次に電話番号が記入されているフィールドをマウスで指定します。

[OK]ボタンをクリックします。



Q [Q]ボタンで、[クイック検索]ボックスを呼び出し、直接電話番号を記入。「リターン」する。



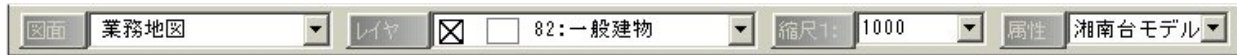
ここでは番号の間にハイフンは要りません。連続してナンバーを記入して下さい。
[地図の該当する建物とリンクされている台帳が同時に表示されます。]


クイック検索は「フィールド」の指定により、氏名、商品名、エリア番号等で実行できます。

台帳(ファイル)を建物にリンク

建物・記号・ライン・文字に台帳や調書のデータをリンクすることができます。

リンクする地図レイヤ(82:一般建物)と属性データ(湘南台モデル)を確認します。



 [属性データ]ボタンをクリックし、属性データのテーブルを表示します。



- ・リンクしたい建物をマウスで選択します。
- ・[住所検索]ボタンで「住所検索」ボックスを表示し、リンクしたい建物の住所を指定。
- ・[地図表示]をクリック



- ・リンクしたい建物が赤く表示されます。

- ・[属性テーブル]の[表示切替]ボタンにより[単票]に切り替えます。



- ・ [単票]が表示されます。

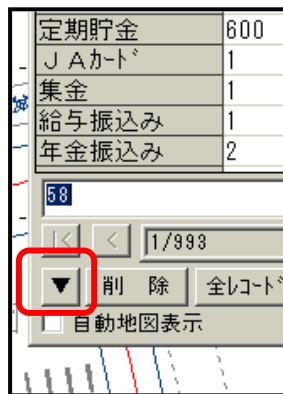


- ・ [図形・属性リンク]ボタンをクリックします。

- ・ リンクする建物をマウスでクリックします。

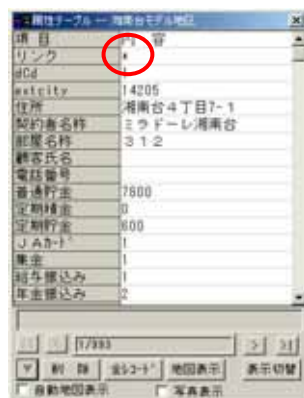
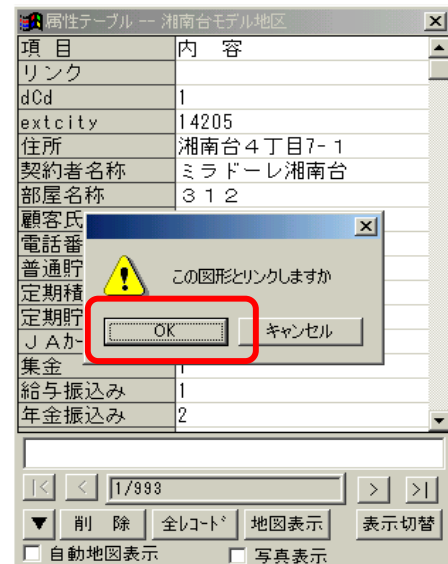


- ・ [単票]内に用意されている「リンクボタン」が灰色から黒色に変わります。



- ・ マウスで「リンクボタン」をクリックします。
「この図形とリンクしますか」というメッセージボックスが開きます。
- ・ [OK]ボタンをクリックします。

- ・ しばらくすると[単票]ボックスの「リンク」項目に「*」マークが表示されます。



これでリンク作業が完了しました。

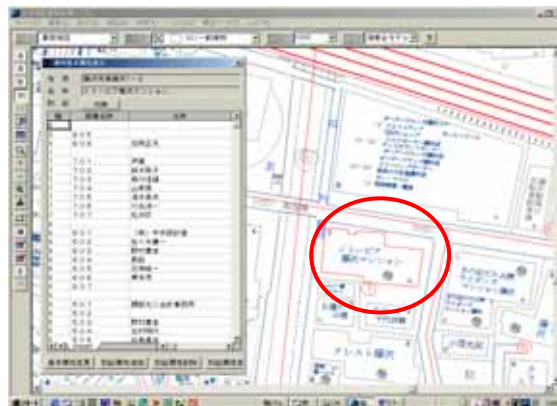
集合建物の入居者データ(別記情報)を見る

地図上に(別)という記号で表示されている集合住宅には入居者のデータがリンクされています。

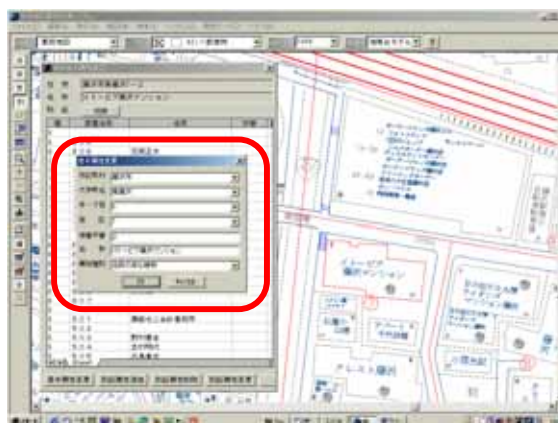
別 [別記]ボタン(建物基本属性表示)をクリックします。



(別)記号のある建物をクリックします。[建物基本属性表示]ボックスが開きます。



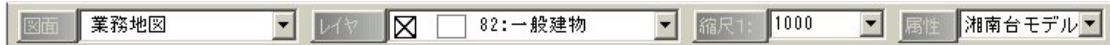
この[建物基本属性表示]ボックスを使って入居者のデータを追加・修正・削除ができます。



建物と世帯主名を新規に登録・修正・削除する

新しい建物を住宅地図に追加します。

横ボックスメニューで図形レイヤとしての「一般建物」と属性テーブルでの「台帳・調書名」を確認します。



編 [編集]ボタンをクリックします。



編集の作業ボタンが表示されます。

「入力」ボタン

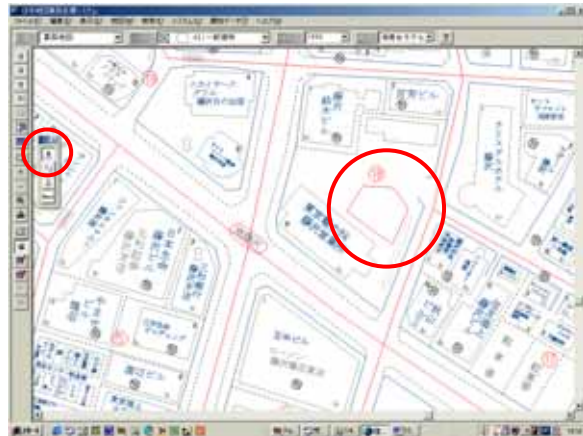
「移動」ボタン

「削除」ボタン

「文字編集」ボタン

新築の建物を入力します。

・「入力」ボタンをクリックし、マウスで家形を入力します。

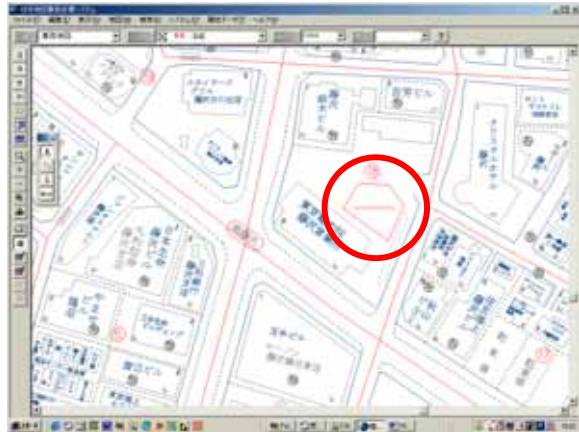


新しい建物に家名を記入します。

横ボックスメニューで図形レイヤとしての「注記」を確認します。



「入力」ボタンで文字の方向を決めます。

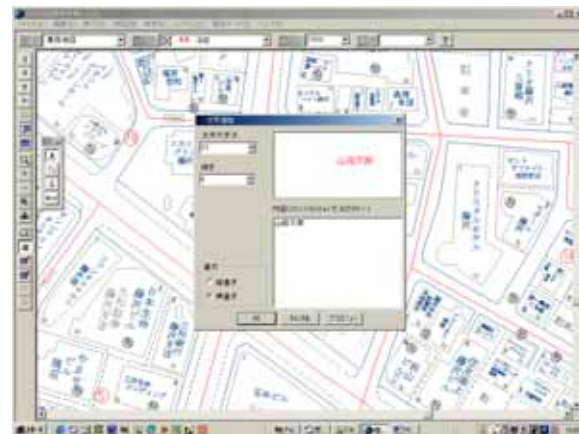


[文字追加]ボックスが開きます。
下のボックスで家名を記入し、
上のボックスで大きさを決めます。

「文字の大きさ設定」

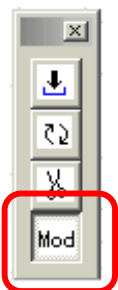
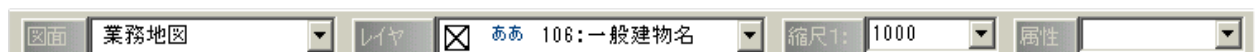
「文字の方向修正」

「文字の縦横変更」



「家名記入」

既に入力された文字の変更を行います。
図形レイヤを[106:一般建物名]とします。



[Mod]ボタンをクリックします。

[文字追加]ボックスで修正します。



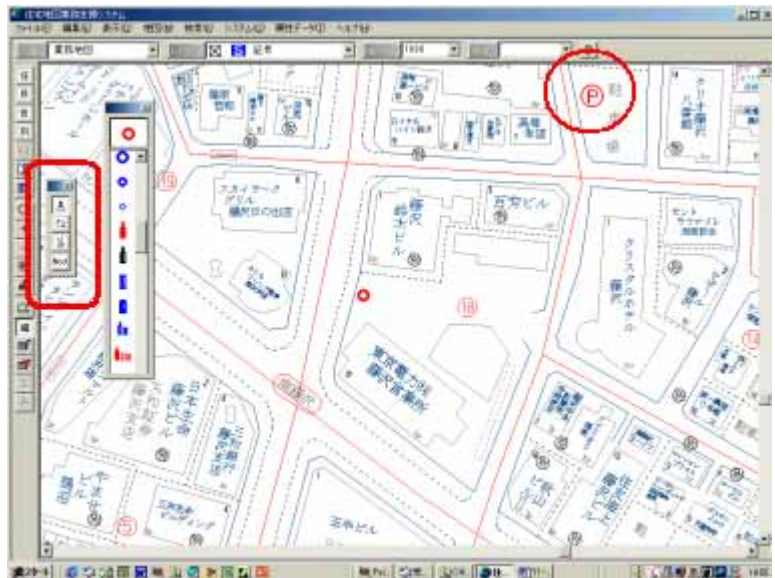
現場のデータをシンボルに変換して入力

現場のデータをシンボルに置き換えることができれば、新しい情報管理ができます。

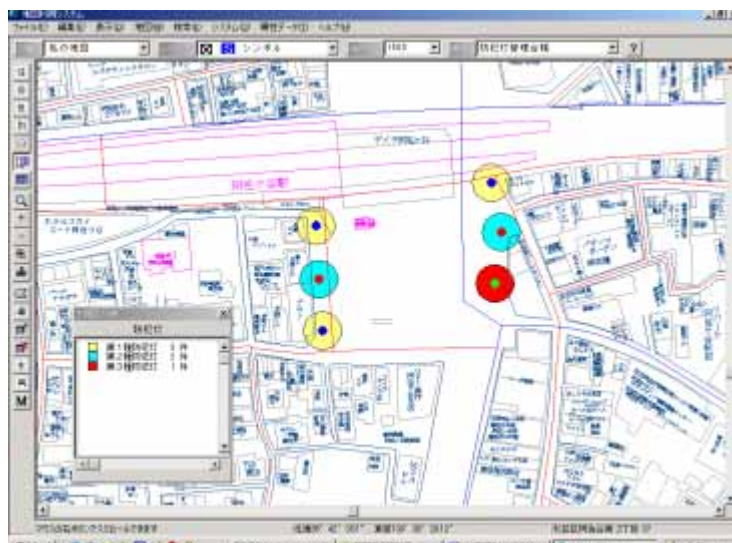
例えば、道路の施設としての「電柱」「カーブミラー」「信号」「証明灯」「街路樹」「自動販売機」「バス停留所」「道路標識」「消火栓」「資源ゴミ回収箇所」等々をシンボルとして住宅地図上に記入し、次に必要な属性データをリンクします。

後は日常業務としての問い合わせ業務や事務処理のために相互検索を行います。

- ・ 図形レイヤは「記号」
- ・ [編集]ボタンをクリック
[入力]ボタンをクリック
「シンボル」バーが表示
- ・ マウスで選択し、画面上でクリック。
- ・ 設置された記号の移動
- ・ 設置された記号の削除



いろいろなシンボルを新規に作成し、システム内に登録することができます。



シンボル（防犯灯）に2つの条件を付与しています。

シンボルを追加・修正・削除する

現場のデータをシンボルに置き換えることができれば、新しい情報管理ができます。

例えば、道路の施設：

「電柱」「カーブミラー」「信号」「証明灯」「街路樹」「自動販売機」
「バス停留所」「道路標識」「消火栓」「資源ゴミ回収箇所」等々

シンボルとして住宅地図上に記入し、次に必要な属性データをリンクし、後は日常業務としての問い合わせ業務や事務処理のために相互検索を行います。

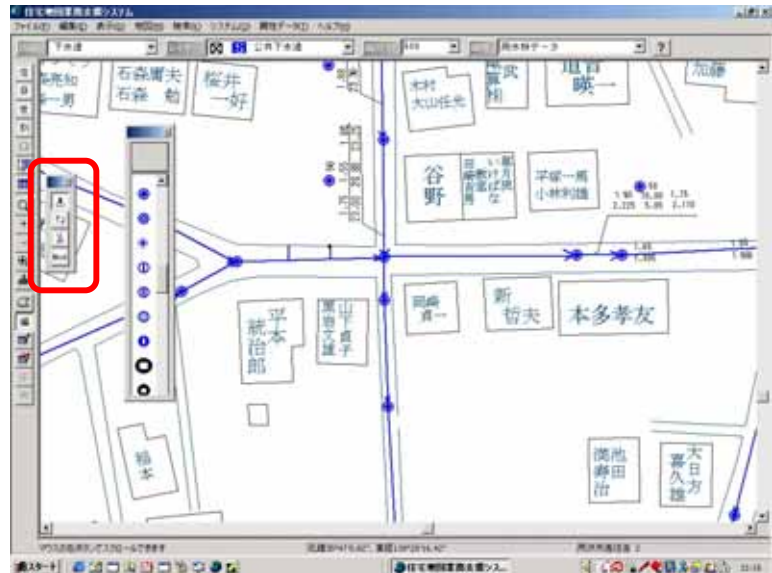
- ・ 図形レイヤは記号で、「公共下水道」

- ・ [編集]ボタンをクリック
[入力]ボタンをクリック
「シンボル」バーが表示

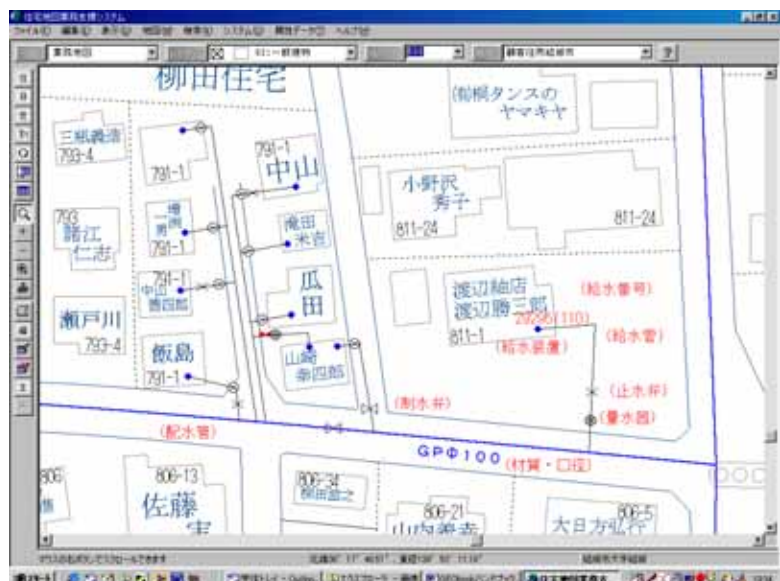
- ・ マウスで選択し、画面上で
クリック。

- ・ 設置された記号の移動

- ・ 設置された記号の削除



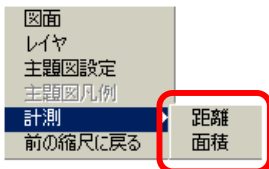
- ・ 文字を記入します。




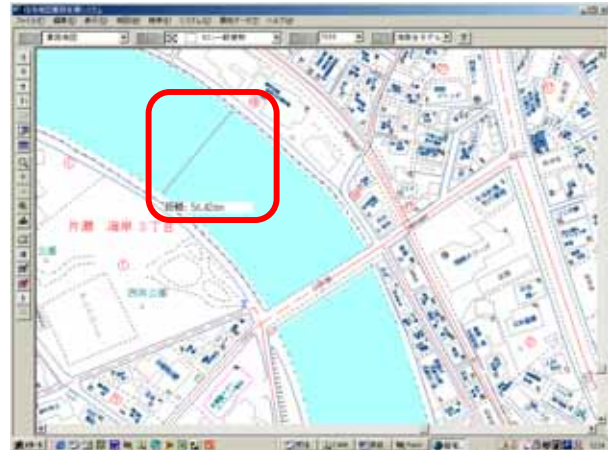
距離と面積を計算する

距離計算


ファイル(F) 編集(E) 表示(D) 地図(M) 検索(K) システム(O) 属性データ(T) ヘルプ(H)

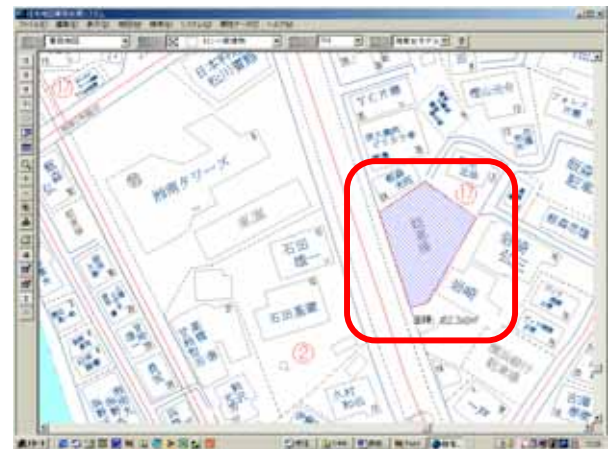


- ・ [距離] ボタンを選択。
マウスで線を引き、ダブルクリック。
- ・ 終われば、 [再描画] ボタンで画面をクリーニングします。



面積計算

- ・ [面積] ボタンを選択。
マウスで囲み、ダブルクリック。
- ・ 終われば、 [再描画] ボタンで画面をクリーニングします。



条件を設定して、主題図を作成する

1 [主題図] ボックスの操作

ツールバーの主題図設定ボタンをクリックします。

2 [主題図] ボックスが表示されます。

属性テーブル名とフィールド名が表示されています。

主題図名を新規に設定します。

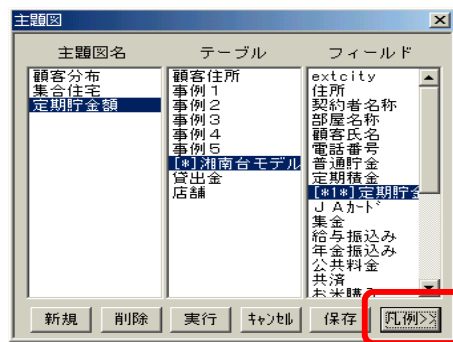
[新規] ボタンをクリックします。

主題図名を仮に「定期貯金額」と入力し、テーブル内の「湘南台モデル台帳」をダブルクリックします。

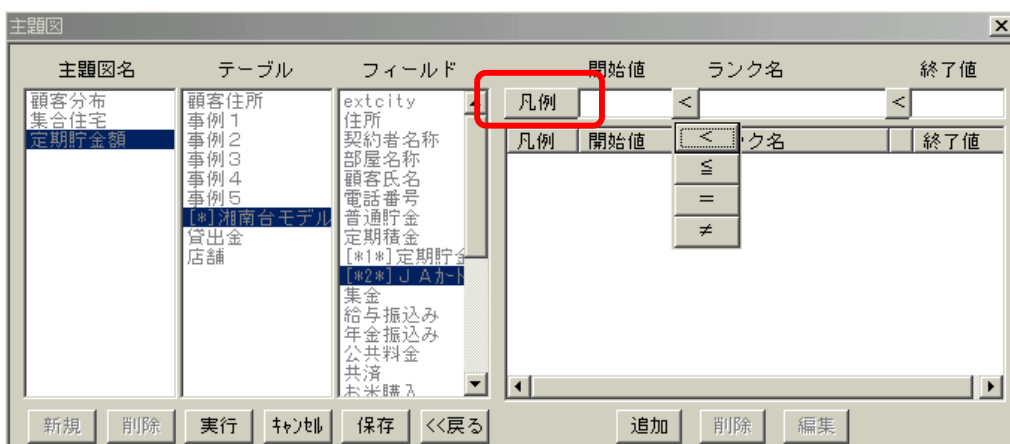
検索する項目を [フィールド] から選択します。ここでは「定期貯金」とします。

調査番号をクリックし、文字が反転したら再度ダブルクリックします。

検索記号 [*1*] が表示されます。 [凡例] ボタンをクリックします。



[主題図] ボックスが表示されます。ここで検索条件を設定します。



中央の [凡例] ボタンをクリックします。 [パターン選択] ボックスが開きます。

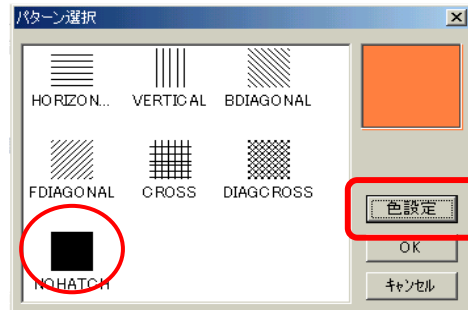
検索結果の建物を表示する方法を設定します。

「7つの表示パターン」と[色設定]ボタンの組み合わせで設定します。
 [OK]ボタンをクリックします。

(1) 地図カラー区分表示



(2) 地図モノクロ区分表示



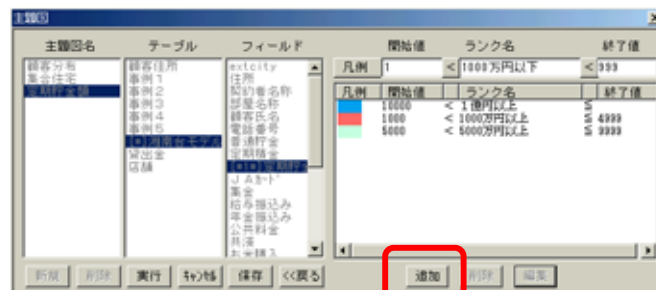
ここでは、預金額のランク区分を設定します。

[ランク]名は仮に「預金ランク区分」で記入します。

設定が終了しましたら[追加]ボタンをクリックします。

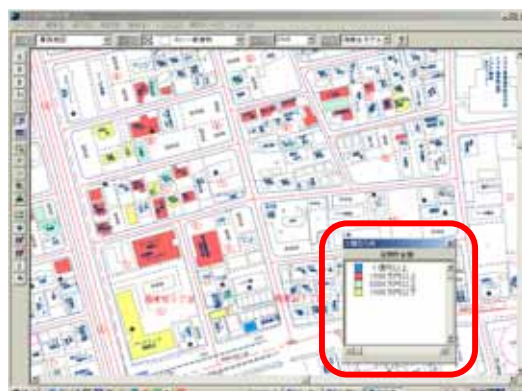
「」をクリックして設定したい演算子(<、=、>等)を選択します。

尚、数値フィールドの開始値及び終了値の入力は数値型なら半角で、文字列なら任意で行います。

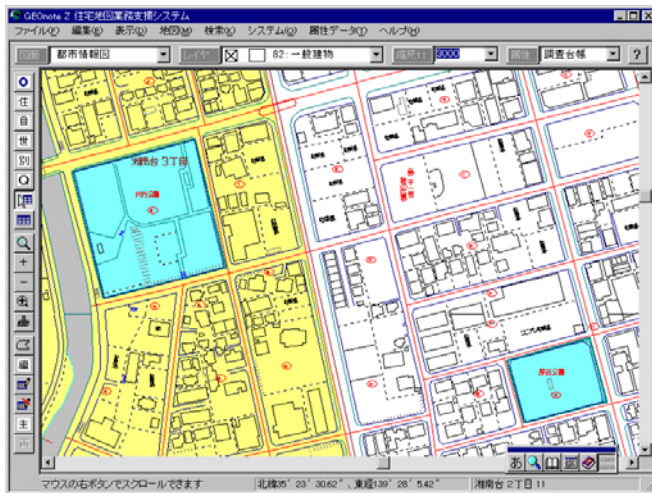


[戻る] [保存] [実行]をクリックします。

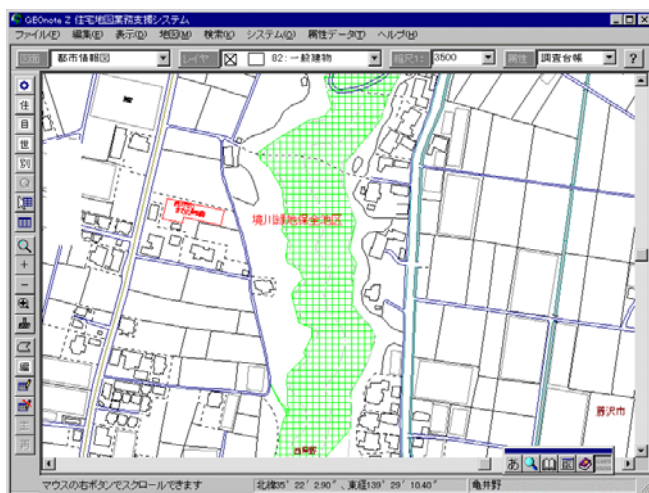
検索結果が地図上に表示されます。更に、メニューバーの[表示(D)] [主題図凡例]で設定した検索条件の一覧が画面に表示されます。



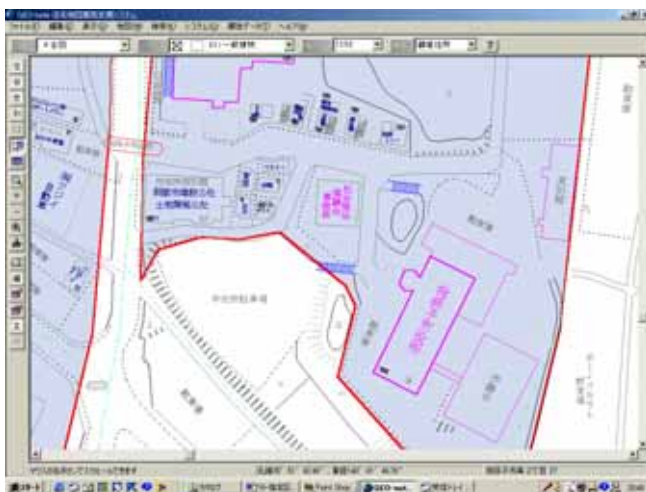
特別区域や法規制地区を入力する



「面」で表現できる情報を入力します。
都市施設としての「公園」と「第一種住居地区」を同時表示しています。



「緑地保全地区」を設定・入力し、
表示しています。



ここでは「下水道処理区」を設定し、
入力しています。

図形を入力し、簡単に修正

入力された多角形（一般建物、特別区、指定区域等々）の修正

修正したい「多角形」を呼び出します。
横ツールバーの「レイヤ」ボックスに
多角形を管理するレイヤを選択します。

縦ツールバーの編集ボタンをクリックし
ます。



次に[Mod]ボタンをクリックします。



多角形をクリックしますと「赤」に変わ
ります。

変更したいポイントをクリックし、修正
箇所まで、クリックしたまま、マウスを
ドラッグします。

そのままマウスを解放します。

新しい箇所へ移動し、修正多角形がで
きます。



多ページ印刷で、広範囲を印刷する

画面表示の範囲や縮尺とは関係なく、画面で表示されている地図の中心位置から、指定されたページ数と指定された縮尺にあわせた範囲を印刷します。

横のページ数を指定する場合：

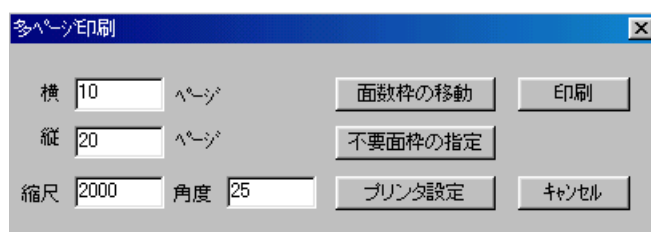
「横」のボックスに指定したいページ数を入力します。

縦のページ数を指定する場合：

「縦」のボックスに指定したいページ数を入力します。

縮尺を指定する場合：

「縮尺」のボックスに指定したい縮尺を入力します。

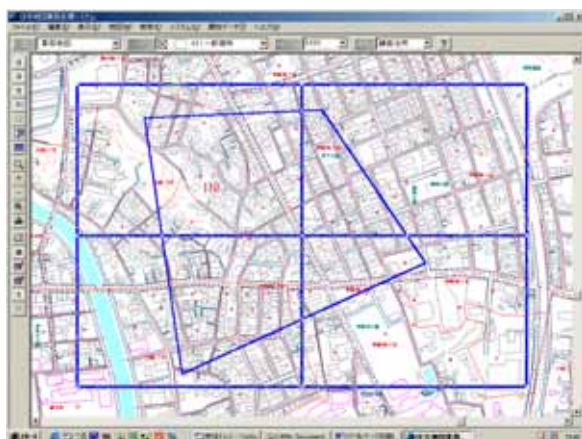


[面数枠の移動]

縦横の枚数と縮尺が決まれば、[面数枠の移動]ボタンをクリックします。

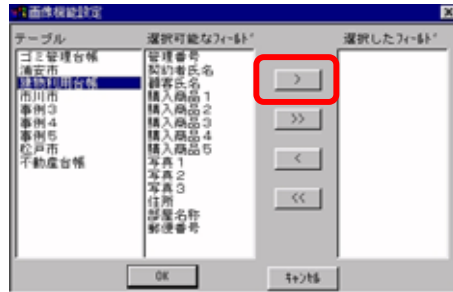
マウスが「+」マークになりますので、そのまま印刷画面枠を移動させます。

印刷予定のエリアに移動させて、[印刷]ボタンをクリックします。



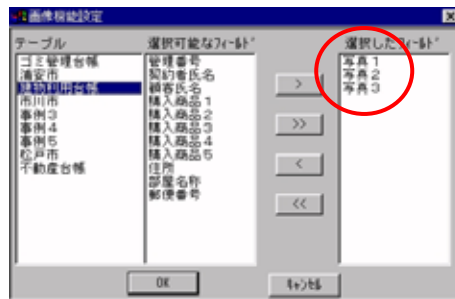
画像を貼り付けて、分りやすい管理を行う

「GE0book」の[システム(0)] [画像機能設定] [画像機能設定]ボックスを表示します。



「選択可能なフィールド」内の[写真1]をクリックし反転した状態でボタンをクリックします。

[写真1]が「選択したフィールド」へ移動します。これで[写真1]に画像データを挿入することができます。

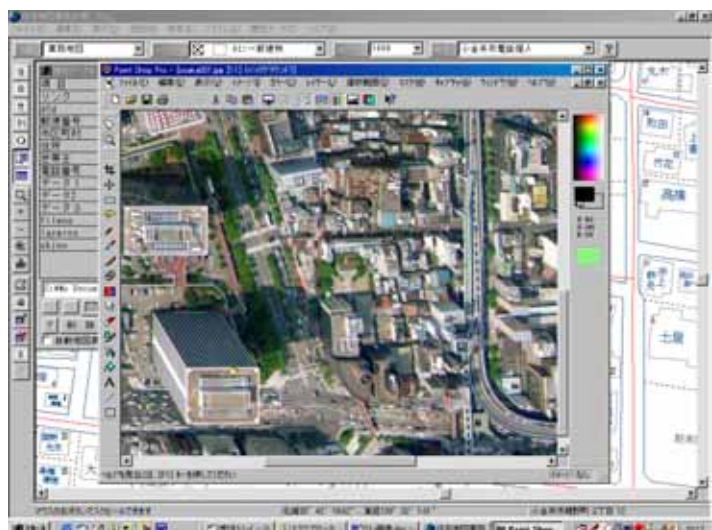


写真の保存しているファイルを指定します。



「拡大」ボタンをクリック

画像を貼る枠に、写真が表示されます。
拡大して、写真を見ることもできます。



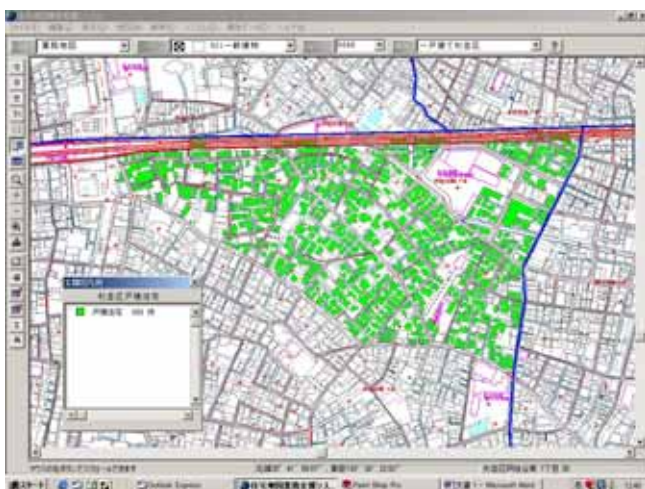
いろいろな区域エリアの検索



1. 任意の多角形を作ります。
2. 四辺形のエリアを作ります。
3. 円形によるエリアを作ります。
4. 町のエリアを指定します。
5. 丁目のエリアを指定します。
6. 番地のエリアを指定します。
7. 区域(B エリア)を指定します。
8. 郵便番号区域を指定します。

これらの指定された区域内のデータを検索します。

丁目の総世帯数を抽出する事例



区域(B エリア)を指定して、そのデータを表示する事例



配布エリア内の世帯数を自動的に抽出

既に設定されている[区域]と[区域名]と
いうレイヤーを確認します。

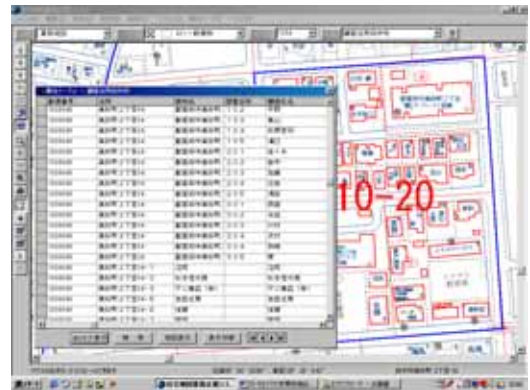
[編集]ボタン [入力]ボタンにより処理区
とエリア番号を入力します。

特定のエリア:

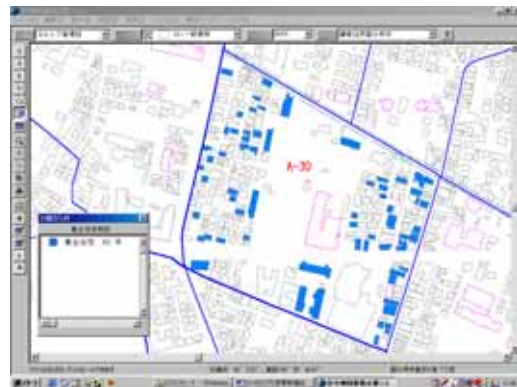
選挙区・開発地区・管轄地域等々



10-20 の処理区の全世帯数を抽出します。
[属性データ]ボタンを使います。
表示されたリストを[属性データ] [CSV出力]
でエクセルデータに自動変換させます。
[表示切替]ボタンで行います。

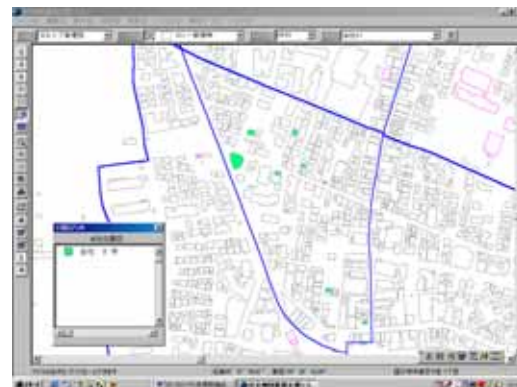


処理区の集合住宅だけを抽出し、該当する
建物だけを色表示します。
件数も同時表示できます。
負担金完納のみのリストも作成できます。



同じく下水道使用料金未払いのリストを作成
し、色表示します。

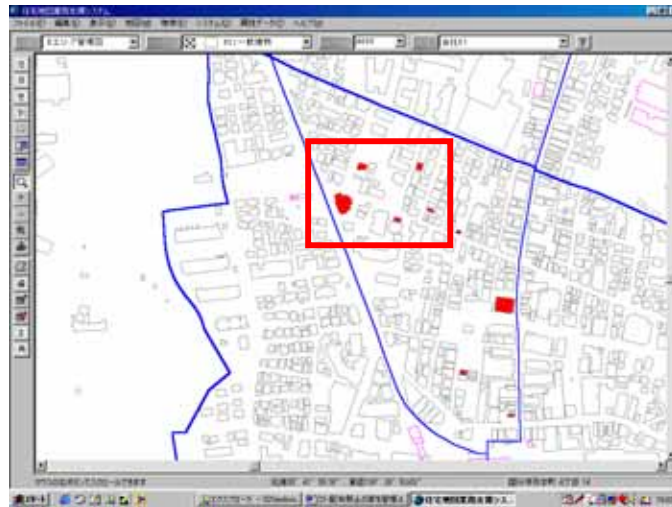
住所	建物名
100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	1階 東京ビル
100-0002 東京都千代田区千代田1-1-2	1階 東京ビル
100-0003 東京都千代田区千代田1-1-3	1階 シェルビル
100-0004 東京都千代田区千代田1-1-4	1階 シェルビル
100-0005 東京都千代田区千代田1-1-5	1階 東京ビル
100-0006 東京都千代田区千代田1-1-6	1階 東京ビル
100-0007 東京都千代田区千代田1-1-7	1階 東京ビル
100-0008 東京都千代田区千代田1-1-8	1階 東京ビル
100-0009 東京都千代田区千代田1-1-9	1階 東京ビル
100-0010 東京都千代田区千代田1-1-10	1階 東京ビル



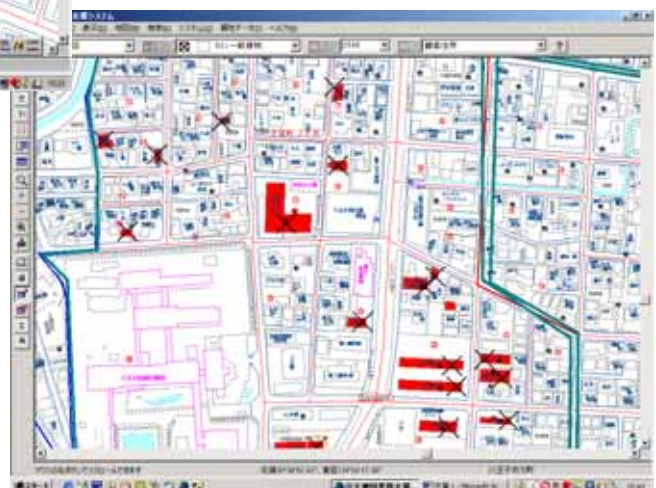
特定建物へ情報を追加入力する

事例:ここでは特定の建物に配布禁止の情報を付加します。

- 配布禁止の家屋のリストを作成します。
- GEObook にそのリストを取り込みます。
- 配布禁止建物を色づけします。



色づけのみならず、バツ印や注意事項を追記することによって、レディさんが間違っ
て配布することを避けることができます。こ
の地図と配布禁止リストとで万全を期すこ
うができます。



何のためにGISを導入するのか？

顧客データを蓄積し、日常業務の簡便化と事業の効率化を促進するため

1. 部課内データの相互結合とそのデータの共有化を図る。
2. 日常業務で即効効果が期待できる分野での利活用を図る。
3. 担当職員がGISの利活用効果を把握し、多目的利用を進める。

導入目標

「担当者全員が使えるシステム」であり、「業務の時間短縮」ができる。

業務データを地図に関連付けることで、業務処理が早くできる。
いろいろなデータを組み合わせることで、今まで出来なかった評価ができる。
さまざまな問い合わせに迅速に応えることができる。



注 GIS (Geographic Information System/地理情報システム)

注 GEObook (Geographic Notebook の略称)

以上